

単独加湿ユニットの採用事例を紹介



乾燥しがちな工場内の湿度を引き上げ、
静電気を防ぎ、作業環境を快適にします。

「LOSSNAY-INFORMATION」編集事務局



ご採用先

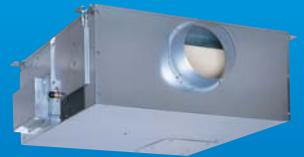
いづみ印刷株式会社 大分工場様

住 所：大分県大分市高江西
建物延床面積：約3,300m²
建物の種別：鉄骨2階立て

いづみ印刷殿は、印刷業務を中心にマーケティング業務やマルチメディアコンテンツの作成などを請け負う総合印刷会社。若いスタッフたちの自由で柔軟な発想力と行動力が生きる、エネルギー豊かな会社です。今年2月には大分市高江に大分工場が完成。「発動!第二創業」をスローガンに掲げ、より良い企業づくりに邁進し続けています。

ご採用機種

単独加湿ユニット：
TKA-2100R×8台



適度な加湿で、静電気を防ぎます!



施主様に伺いました!

省コストで工場内を均一に加湿でき、 印刷作業がスムーズに 行えるようになりました。

いづみ印刷株式会社
取締役 工場長 中木 修二 様



移転前の工場は湿度を含めた空調コントロールがされていない作業環境でした。

そのような状況の元で印刷作業を行いますと、冬は乾燥によって発生する静電気により、印刷機の紙詰まりが頻繁に発生するため、モップで床に水を敷くなどして、苦し紛れの対策をしていました。

そのため、オペレータがなかなか印刷作業に集中することができませんでした。

移転後の工場に要望したことは、そういった不具合を改善して、オペレータが本来の業務に集中できる環境にしてほしいということでした。

実際、新しい工場に移ってからは、冬場の静電気が発生しなくなったため、機械の紙詰まりがなくなり、オペレータが本来の業務に集中できるようになったので、良かったと思います。



設備設計者様・施工業者様に伺いました!

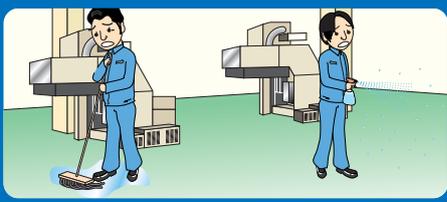
単独加湿ユニット採用の理由:



設備設計者様:
河野電気株式会社
常務取締役 平山 利春 様

移転前の工場では...

冬になると空気が乾燥して静電気が発生し、薄い紙が2重になって印刷機に送られ、紙詰まりを起こしていました。そのため、オペレータは静電気を防ぐために、モップで床を濡らしたり、霧吹きをしたりと加湿の対策に手を取られ、印刷作業に専念できませんでした。



これを解決するためには...

機械設備で工場内の湿度をコントロール!



施工業者様:
若狭株式会社
社長 若狭 泰明 様



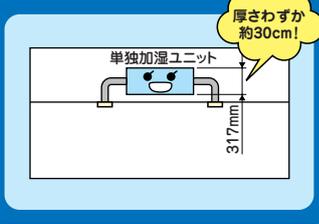
1 均一な加湿が可能

容易に設置でき、空調機モードに関係なく単独で加湿できるため、工場内を均一に加湿できるところがポイントですね。



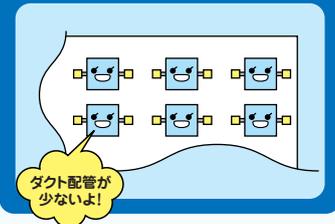
2 省施工で設置可能

天井裏のスペースが少なく、ダクトを設置するための高さが足りなかったため、ダクト配管が少なく済む加湿器を探していました。単独加湿ユニットは、狭い天井裏にも容易に設置でき、省施工ですね。



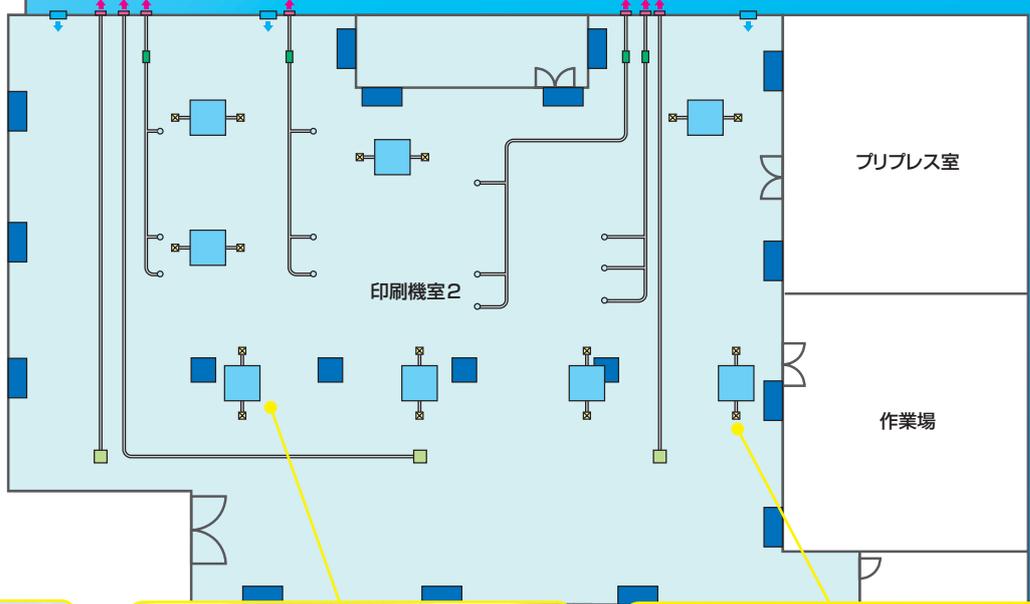
3 省コストで設置可能

単独加湿ユニット以外の加湿方法も検討しましたが、設備+設置費用がかかるため、採用には至りませんでした。単独加湿ユニットはダクト配管が比較的に容易に行えるので、施工費用を抑えて設置することができました。



工場内のレイアウトと機器設置の様子

- 単独加湿ユニット
- 空調機
- ▶ 排気口
- ▶ 給気口 (自然給気)
- カウンターアローファン
- ダクト用換気扇
- 排気グリル



単独加湿ユニットの専用スイッチは湿度スイッチ(山武ハネウェル製)と連動しており、24時間運転で湿度管理をしています。



単独加湿ユニットは工場の面積に対して、ほぼ均等の間隔で設置されています。大型印刷機がある場所は、点検口が印刷機の真上にならないよう配慮しています。



単独加湿ユニット吹出口の拡大写真。グリルは住宅用換気送風機の部材を使用しています。

